

8月5日に受診して8月11日に1泊入院して組織検査をして頂き癌が確定しました。そして「胸水がたまってるから手術も放射線治療も出来ません。抗がん剤治療しかありませんよ。体中に回ってるから治りません。」と宣告されてしまいました。そして抗がん剤治療を始める事になりました。この時すでに最初の受診から1ヶ月近くたっていました。

まず抗がん剤の説明をしてくださいました。

今は医学が発達していて3種類の治療法があることを教えて頂きました。

一つ目は昔からある殺細胞性の抗がん剤です。これは癌細胞だけでなく体中の細胞を攻撃してしまうのでかなり副作用もきついし体が弱ってしまうようです。

二つ目は分子標的薬による治療です。2001年に承認された新しいお薬です。今までの殺細胞性のお薬に比べて副作用が比較的軽く癌細胞だけを特異的に攻撃するので、耐性が出来るまで数年続けられる人もいらして、私も入院して知り合った方がこのお薬で10年以上生きていらっしゃる方に何人もお会いしました。ただしこのお薬は細胞を調べて癌になっている遺伝子が治療の対象になってないとほとんど効果がないそうでそのための検査をしますとのことでした。三つ目は最先端の免疫治療です。2010年に承認されたお薬でまだまだ歴史が浅くお医者様も今まだ手探りの状態だということです。ただこのお薬が効けばかなり効果があるようです。

今はこの免疫治療と1つ目の殺抗がん剤治療を併用するのが最先端の治療のようです。私は二番目の分子標的治療をしてほしいと思いそのことをお伝えしましたが、この治療を受けるには癌細胞を検査して三週間待ってお薬が効く遺伝子に変異があつて癌細胞になっているか確かめなくてはなりませんでした。三週間待つのはとてもつらく悶々としました。2月から7月までに0.7センチが1.4センチになっているのに3週間もほっておいたらどんどん大きくなってしまったのと思いました。

三週間たって受診すると「遺伝子変異はありませんでした。殺細胞性の抗がん剤と免疫治療を組み合わせます。」とさっぱりと言われました。この時は本当に落ち込みました。診察室で私の後ろにいた主人も振り向くとかなりショックを受けてる様でした。

最初に受診してからもう2ヶ月近くたっていました。帰りに教会に寄ってお届けさせていただきました。すると奥様先生が1冊の本を貸してくださいました。工藤房美さんの「ありがとう100万回の奇跡」という本です。

余命 6 ヶ月と言われた工藤さんが数か月で全てのがんが消えた実録が書いてあるほんでした。何も手につかない状態、何も考えられない状態の中帰ってソファに座り漠然と本に目を通していました。工藤さんは金光教の信者さんではないのですが、この本を読まれた東京の金光教教会のある先生が感想をフェイスブックで紹介し、それを読んだサンフランシスコ教会の先生がニュースレターに書かれたそうです。それがまわりまわって金光教荅北教会の末永道彦せんせいの元に届き、そして工藤さんが同じ熊本の方だと知りお電話して教会でお話して欲しいと頼まれたそうです。工藤さんは宗教の事は良く分からなかったけれど末永先生の実直で前向きで真摯なお人柄に心を打たれて引き受けたと本にかいてありました。

そして久留米の金光教合衆教会の講演会場で工藤さんが話されたお話を私がお世話になってる教会の若先生が聞かれて感激されて本を購入されたみたいです。その本を読んでいるうちにだんだん気持ちが落ち着いてきて、現実を受け入れる覚悟が出来てきました。どんな副作用が出てても苦しくても辛くても、神様にお願いさせて頂きながら、一つずつ一つずつおかげを頂いていこうという想いにならせていただけました。工藤さんの本はがん闘病中の方でなくてもとても元気をもらえる本だと思ったので、何冊も買わせて頂いて子どもたちやご近所の方々、入院中にお友達になった方にも差し上げました。

定価は 1500 円+税ですが、今は Amazon などで半額近くの値段で中古品が購入できるみたいなので興味ある方は是非読んでみてください。そして次の日の夕方、夕飯の準備をしていた時 1 本の電話が入りました。次はその電話の内容からお話しさせて頂きたいと思います。教も最後までご視聴下さりありがとうございました。がんサバイバーみやままでした。ありがとうございました。